

# ePass1000



## コストパフォーマンスに優れたUSBトークン

- 電子証明書/秘密鍵のセキュリティを低コストで向上
- PIN番号(暗証番号)とUSBトークンによる二要素認証を実現



コストパフォーマンスに優れたUSBトークンで、電子証明書の格納以外にもプライベートAPIを利用する事によりチャレンジ&レスポンス認証によるWeb認証システムを容易に構築できます。

## 個人認証情報をセキュアに格納するUSBトークン

インターネットが一般化した現代では、オンラインで身分を証明する方法として電子証明書が広く利用されています。この電子証明書を利用する事により、「なりすまし」「盗聴」「データの改竄」などの様々なリスクを回避する事ができます。しかし、電子証明書そのものが盗聴の被害に遭うと、結果的に同様の被害に遭う可能性があります。また、電子証明書をPCに格納すると別のPCで利用する事ができず、利便性が低下してしまいます。その為、電子証明書は、持ち運びが可能で安全なデバイスに格納する必要があります。この安全なデバイスになるものが「USBトークン」です。ePass1000は電子証明書、秘密鍵、ユーザーIDやパスワードなどの個人認証情報をセキュアに格納でき、PIN番号(暗証番号)とUSBトークンによる認証で二要素認証を実現し、大切なデータを堅牢に保護します。

## ePass1000

コストパフォーマンスに優れたUSBトークンで、電子証明書の格納以外にもプライベートAPIを利用する事によりチャレンジ&レスポンス認証によるWeb認証システムを容易に構築できます。

### ご利用方法と主な機能

#### 1. 電子証明書

複数の電子証明書や鍵ペアをセキュアに格納でき、利便性とセキュリティを向上します。

#### 3. Web認証

SSLによる認証にも対応し、社内Webなどにセキュアにアクセスできます。

#### 5. 無線LAN認証

IEEE802.1x EAP-TLSによる無線LAN認証に利用でき、セキュアな無線通信を行えます。

#### 2. リモートアクセス

SSL-VPNやIPSec VPNに利用でき、社内LANなどへセキュアな通信が行えます。

#### 4. 暗号化メール

S/MIMEやPGPなどの暗号化メールに利用でき、安全・確実にメールの送受信が行えます。

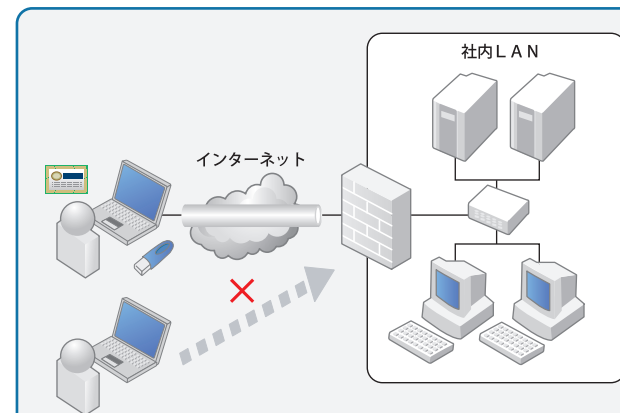
#### 6. 電子署名

PDFやXMLなどへの電子署名を行い偽造・改竄を防ぎます。

## ePass1000の製品特徴

- ・優れたコストパフォーマンスを実現
- ・APIを利用する事でチャレンジ&レスポンス認証を実現可能
- ・ドライバをインストールするだけでVPN、S/MIMEなどの様々なPKIソリューションに利用可能
- ・格納した秘密鍵は取り出しできない高セキュリティ設計
- ・PC/SC(Windowsスマートカードログオン)対応

## 導入例



ePassに電子証明書を格納する事で、VPNアクセス時に二要素認証(PIN番号+USBトークン)による高セキュリティを実現できます。ePassはジュニパーネットワークス、Arrayネットワークス、シスコなど様々なメーカーのVPN装置やL2ConnectなどのVPNソリューションと容易に連携する事ができます。

## 製品仕様

	ePass1000
サポートOS	32bit : Windows 2000, XP, 2003, Vista, 2008, 7, 8 64bit : Windows XP, 2003, Vista, 7, 8 Linux
対応標準	PKCS#11, MS CAPI, X.509 v3 Certificate Storage, SSL, IPSec / IKE
内蔵暗号化アルゴリズム	HMAC-MD5
API	Microsoft Crypto API (CAPI) PKCS#11
内蔵プロセッサ	8bit CPU チップ
内蔵メモリ	8KB / 32KB (EEPROM)
書き換え寿命	100,000回以上
メモリデータの保存期間	10年以上
コネクタ	USB 1.1/2.0, Connector type A
インターフェイス	PC/SC
消費電力	250mW 以下
動作温度	0°C~70°C
保存温度	-20°C~85°C
保存湿度	0~100% (結露なきこと)
認定	RoHS, CE, FCC

詳しくは、WEBサイトでもご覧頂けます。 <http://www.ftsafeco.jp/>